

龍馬と心通わず“新館”

# 2018.4.21 GRAND OPEN!

## 高知県立坂本龍馬記念館グランドオープン!

[開館時間] 午前9時～午後5時 年中無休 [観覧料] 企画展開催時 一般700円(560円) / それ以外の期間 一般490円(390円)

※( )内は20名以上の団体 ※高校生以下無料 ※高知県または高知市の長寿手帳所持者は無料 ※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳・被爆者健康手帳所持者とその介護者1名は無料

※4月21日のご入館は、館前でのテープカット(10:30予定)終了後となります。

龍馬と遊ぶ本館



高知県立坂本龍馬記念館

The Sakamoto Ryoma Memorial Museum



# 土佐に遺された 龍馬の『志』

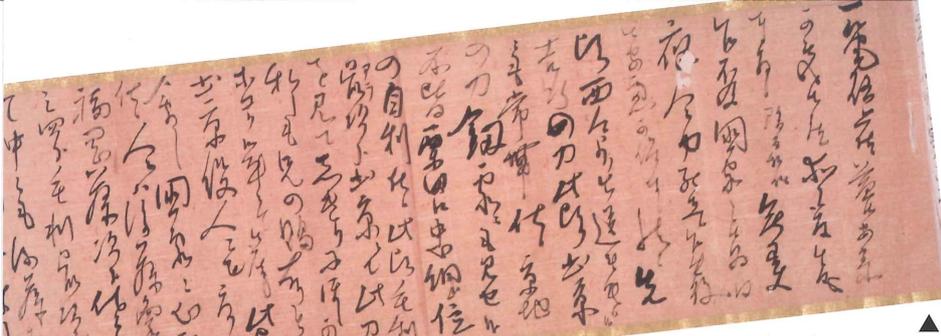
— 国家之御為日夜尽力罷在候 — 展

龍馬の故郷である土佐に遺された手紙には、国のために尽力する龍馬の熱い思いが溢れており、彼の「志」を考へる上で非常に重要な内容のものが多く含まれています。龍馬の遺族が受け継ぐことで土佐に遺るべくして遺された手紙と、縁があつて土佐に遺された手紙。新館のオープニング展示に相応しい、龍馬の熱い思いが文字に宿る手紙17点が一堂に揃います。

## ▲慶応三年 六月二十四日

兄坂本権平宛

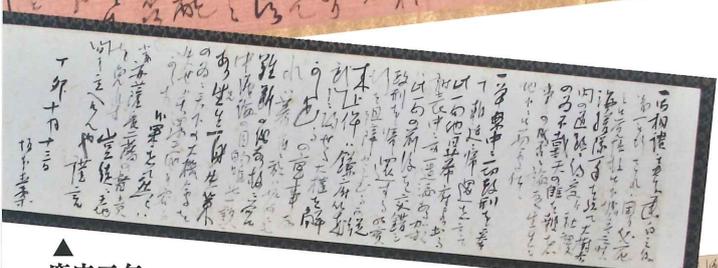
いろは九事件の詳細を権平にはじめて知らせた手紙  
『国家之御為：』と国事に奔走する様子を兄に知らせている。



## ▲慶応三年 十月十三日

後藤象二郎宛

大政奉還前夜。二条城へと登城する後藤へ送った手紙の草案。



## ▲慶応三年十一月

後藤象二郎宛

「越行の記」  
後藤の依頼を受けて福井藩を訪問した龍馬がその結果を報告した手紙の草案。



## ▲慶応三年 十一月十日

中根雪江宛(個人蔵)

龍馬暗殺の五日前、新政府に三岡八郎を出仕させることを福井藩重臣の中根雪江に懇願する手紙。  
「新国家」の語が見える。



平成30(2018)年4月21日(土)～7月9日(月)  
観覧料/一般700円(20名以上の団体560円) 高校生以下無料

※高知県または高知市の長寿手帳所持者は無料 ※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳・被爆者健康手帳所持者とその介護者1名は無料

主催/高知県立坂本龍馬記念館(公益財団法人高知県文化財団)

後援/高知新聞社・共同通信社高知支局・時事通信社高知支局・日本経済新聞社高知支局・朝日新聞高知総局・毎日新聞高知支局・読売新聞高知支局・産経新聞社高知支局・NHK高知放送局・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・高知さんさんテレビ・エフエム高知

関連企画 | 記念講演会「坂本龍馬と幕末の長崎」6月9日(土) 14:00～15:30(予定) 講師: 織田毅氏(シーボルト記念館[長崎市]館長) 会場: 新館1Fホール



血痕のついた貼交屏風(複製)

## 新館「常設展示室・企画展示室」 「龍馬と”心通わす”」

従来の2倍の面積となった常設展示室では、龍馬の手紙をはじめ、様々な資料を展示し、龍馬の生涯や人物像、業績を時系列でご覧いただけます。また、我が国の国際化・近代化に尽力したジョン万次郎を紹介するジョン万次郎展示室も新設しています。



薩長同盟裏書(複製)



桜田門外の変を描いた錦絵



上/常設展示室入口下/「演義紀略」より(ジョン万次郎展示室)

## 本館「幕末広場」 「龍馬と”遊ぶ”」

映像や音声、親しみやすいイラストなどを用いた体験型展示コーナー「幕末広場」では、龍馬や幕末の出来事をわかりやすく紹介。龍馬と同時代を生きた約130人の写真が並ぶ「幕末写真館」も圧巻です。記念館オリジナルの龍馬フィギュア(制作:海洋堂)と並んでの記念撮影もどうぞ。

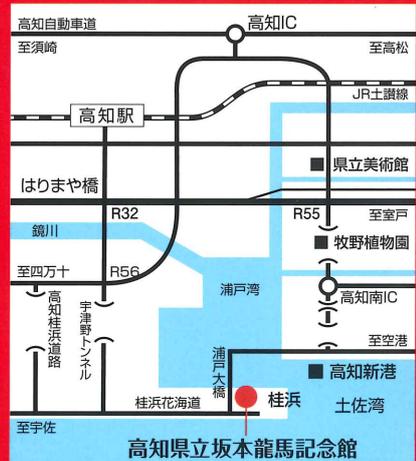


本館「海、船、大志」



本館「勝海舟との出会い」

# GRAND OPEN! 2018.4.21



高知県立坂本龍馬記念館  
The Sakamoto Ryoma Memorial Museum  
〒781-0262 高知市浦戸城山830  
TEL.088-841-0001 FAX.088-841-0015  
http://ryoma-kinenkan.jp